

第560回遊佐町議会定例会一般質問通告書

令和4年9月定例会

通告順	通告者	質問事項	要 旨
1	<p>7番 菅原 和幸 (一問一答)</p>	<p>1. 将来の人口減少を踏まえた行政運営のあり方の検討を進められているか</p>	<p>本町の人口ビジョンでは、38年後の2060年に人口8000人を維持することを目標としているが、国立社会保障・人口問題研究所が公開した試算では、同年で5000人弱と推測されている。</p> <p>令和5年4月の新小学校開校に伴い1中1小の時代へと変遷するが、その背景には進む少子化がある。小学校統合への動きは、平成27年度に始まったが、保育園の再統合を検討する時期が、いずれ訪れるのではと当時認識をした。保育ニーズや施設の維持運営面等から、町立保育園統合や学校法人が運営する認定こども園を含めたあり方について検討されているか。</p> <p>遊佐PAT整備事業は用地取得が終え、計画に沿って今後進められる。整備に関し国、県の補助が想定されるが、町負担についても今後の財政面を考慮した投資であるべきと考える。</p> <p>地方自治法には、「公の施設」は指定管理者を指定し管理することができる。当町では現在、令和7年3月までの期間で13施設を、年間約1億円の指定管理料で指定している。</p> <p>遊佐PATで造成される施設も同様の扱いとなるなら、今後増額も考えられる。将来の財政負担などを考慮した、町有施設のあり方について検討されているか。</p>
2	<p>5番 齋藤 武 (一問一答)</p>	<p>1. 新教育長はどのような考えに基づき、教育行政に取り組むのか</p>	<p>十数年ぶりに新教育長を迎え、新しい教育長は果たしてどのような考えに基づき、どのような具体的手腕によりこの町の教育行政に取り組むのか、関心が高まっているのではないだろうか。</p> <p>教育行政は学校教育はもちろんのこととして、幅広い分野を受け持っている。また遊佐町ならではの地域事情もある。さらには時代とともに教育行政を取り巻く課題は変化している。</p> <p>横断的に、新教育長の教育行政に取り組む姿勢を確認したい。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
3	6 番 松永 裕美 (一問一答)	1. 遊佐町「いじめ 0 (ゼロ) 運動」展開の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・遊佐町の小・中・高において、現在のいじめに関する生徒や各家庭からの相談に対応できる窓口や対応方法等について、どのような態勢になっているか伺う。 ・現状でいじめは確認されているか、いないかを伺う。 ・来年の小学校統合も視野に入れ、未来に向けて遊佐町オリジナル「遊佐 いじめ 0 (ゼロ) 運動」の提案をさせて頂く。 (「0」(ゼロ)の手の動作付き案)
		2. 高齢者のための遊佐町地域交通のあり方	<p>加速する少子高齢化そしてコロナ禍において、今まで以上にガバナンスを強化した、実行性のある交通システムマネジメントが当町に必要なとなると考える。</p> <p>以下の点について町のお考えを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小型カートを用いた自動運転システム導入は 2. 生活の課題や困っている事を地域で議論する場である協議会の新設や地域公共交通計画等の既存制度をブラッシュアップしていくべきでは
4	2 番 那須 正幸 (一問一答)	1. 「お悔みハンドブック」でワンストップ窓口の更なる効率化を	<p>町では、死亡届を出された方に役場での様々な手続きに関する案内の用紙が1枚渡される。すべての項目を調べ、該当する届け出の手続きをしなければならない。一つ終わるとまた次の手続き、更に手続きと・・・時間と労力もかかる。県外在住の人にとっては大変だ。出来れば該当する手続きを一度にできないものだろうか。</p> <p>提案として「お悔みハンドブック」を取り入れてはどうだろうか。自分でチェックリストをチェック、該当欄を確認する。ページ数に沿って該当する担当課を確認。必要なものが記載されており、戸籍から年金・保険・福祉・税金・農地・不動産・ペットまで、手続きの仕方を記載。その他相続に関する案内や代理人の委任状まで取り入れたハンドブックを作成することにより、今後ワンストップ窓口の更なる効率化が見込まれると思われるが、ご所見を伺う。</p>
		2. 身近になったのか、マイナンバーカード	<p>当町のマイナンバーカードの申請件数は、元年度県内で下から3番目、さらに3年度は最下位の申請状況であったが、現在窓口では申請のために手続きに訪れる方々が多く見られる。</p> <p>現在の申請の状況と普及率はどのくらいになったのか。また今後、マイナンバーカードの利活用はどのような計画となるのか伺う。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
5	8 番 赤塚 英一 (一問一答)	1.生活基盤に対する行政の考え方と将来像	<p>先般、JR が赤字路線を公表したが、当町を通る路線も大変厳しい状況にあり、生活の「足」を今後どうしていくのか、厳しい選択を迫られるのではないかと考えさせられる。</p> <p>また、生活に必要な物資を購入できる商店なども少なくなっており、高齢者をはじめ多くの町民の生活基盤が不安定になってきていると感じる。こういった生活基盤に対する、行政としての考え方とその将来像は。</p>
6	1 1 番 斎藤 弥志夫 (一問一答)	1.受動喫煙の防止	<p>受動喫煙の健康被害は明白で、分煙ではなく全面禁煙化が進んでいる。屋内全面禁煙が世界の潮流のようだが、遊佐町では役場関連の施設、総合交流促進施設のような第三セクター、民間の事業所、公民館等において害のあるタバコ対策をどのように実施しているのか。</p> <p>子どもについては自らの意志で受動喫煙を避けるのは困難であり、保護の必要性が高い。子どもの受動喫煙防止は、社会全体の責務であり、一部の自治体で行われている保育料の完全無償化と並ぶ重要な事案であるため、遊佐町でも条例を制定してもよいのではないかと。</p>
		2.肥料高騰対策	<p>肥料高騰率は10%を超え、農業経営を圧迫しているのは現実で、JAの肥料高騰見込みでは50~90%のレベルである。稲作全体をカバーするなら飼料米、豆、ソバの転作作物に使う肥料についても補助金の対象になりそうだがいかがか。インフレは長引くであろうし、肥料高騰対策としての補助金の交付は来年度も継続してもらいたい。</p>
7	4 番 佐藤 光保 (一問一答)	1.気候危機対策について	<p>(1)「ゼロカーボンに向けた現況調査事業」の進捗状況はどうか。</p> <p>(2)気候危機対策は、地域と一緒に促進すること、雇用を生み出して地域経済を回すことが肝要と考えるが、再生可能エネルギーの導入、省エネルギー対策に関する支援策の拡大はどうか。</p>
		2.給食費の無償化の今後について	<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して給食費の無償化が実施されている。</p> <p>子育て世帯に対する支援としてその意義が認められたものであるが、9月から12月までの時限措置であることから、目下の注目点は、来年1月以降どうなるかということである。</p> <p>給食費無償化に関する抱負について伺いたい。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
8	<p style="text-align: center;">1 番 本間 知広 (一問一答)</p>	<p>1. 「遊佐町水道事業耐震化・更新計画」が目指すものは</p>	<p>蛇口をひねると水が出てくる。当たり前のことと思っ ている方も多いだろう。そして今飲んでいる水がどこから来ているのか知らない人も多いのでは ないか。今回はそんな身近な水道について質問させていただく。</p> <p>今般、「遊佐町水道事業耐震化・更新計画」が示された。災害が激甚化している昨今である。災害時の「水」の重要性はいまさら言うまでもない。計画期間は10年で、計画の趣旨には「実現可能な施策を優先的に進める」・「災害に対する防災・減災など様々な視点を折り込んだ計画」とある。</p> <p>令和2年度収益費用の会計でいうと収入が約4億1千500万円で、そのうち使用料収入は約3億5千800万円である。一般会計からの繰出しは年間約2千万円弱で、今のところ収益的に悪いわけではないが、遊佐町の高い水道料を払ってもらっての話である。</p> <p>今後、人口が減り水道料がさらに高くなることが心配される中、この計画をもってどのようなことを目指すのか伺う。</p>
9	<p style="text-align: center;">9 番 阿部 満吉 (一問一答)</p>	<p>1. まちづくり基本条例に基づくまちづくりの検証は</p>	<p>平成19年9月より施行された同まちづくり基本条例は15年目を迎える。時田町長が就任してからは13年になるかと思うが、庁舎の改築を終え、5小学校の統合を来春にひかえ、町民に係る大型事業は節目を迎えた。</p> <p>一方、高速道路の開通もまじかに控え、「新・道の駅」を軸にした町の産業活性化策、空き校舎の有効利用、洋上風力による町民生活への影響など、5年毎のまちづくりを再考する時期にきているが、条例31条に基づく検証をいかになされているかを聞きたい。</p>
10	<p style="text-align: center;">10 番 高橋 冠治 (一問一答)</p>	<p>1. 安全なスクールバス運行を</p>	<p>来年4月に新生・遊佐小学校が誕生する、それに伴いスクールバスも路線・台数も増える予定だが、バスに乗り慣れない子供たちも多い。</p> <p>また、狭い県道に朝の時間帯に送りの保護者の車を含め集中するが対策は。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
1 1	3 番 佐藤 俊太郎 (一問一答)	1. 町有地における樹木等の管理状況は	<ul style="list-style-type: none"> ・各課所管施設内の樹木管理状況をお伺い致します。 ア. 各種公園内の樹木及び草花等の管理 イ. 各学校等の樹木及び草花等の管理 ウ. 各まちづくりセンターの樹木及び草花等の管理 エ. ゆうすい等の福祉施設の樹木及び草花等の管理 更に予算措置をお伺い致します。
		2. 今後の情操教育方針は	<ul style="list-style-type: none"> ・「躍動」する遊佐っ子10か条は、2015年11月に青少年育成協議会において制定されました。教育長としてこれらを踏襲されるのかお伺い致します。 ・子供達が自分のやりたいことを貫ける環境を整備していくとのこと、具体的な説明をお伺い致します。